2026年3月期
決算説明会

代表取締役社長　中山大輔

2026年5月20日(水)

Art in Technology
komatsumateRe

もくじ

Ⅰ. 会社概要
Ⅱ. 2026年3月期 決算概要
Ⅲ. 2027年3月期 業績見通し
Ⅳ. 中期経営計画進捗状況

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅰ.会社概要

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅰ-1. 会社概要

業　種：繊維の染色加工技術を基盤とした化学素材メーカー

本　社：石川県能美市浜町ヌ167番地

設　立：1943年10月8日

株　式：東証プライム市場

資本金：46億8千万円

売上高：415億円（2026年3月期）

社員数：1,227名(連結)

・連結子会社　国内5社、海外2社
・持分法関連企業　2社

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅰ-2. 会社概要　当社企業理念

小松マテーレが企業活動を遂行するにあたって最も基本的な姿勢を示した価値観であり、全ての活動の指針とするものです。
ここに掲げた三つの理念をもとに、私たちは“驚き”と“感動”があふれる素材を創造し続ける「化学素材メーカー」を目指します。

小松マテーレは
人々の感動を創造します

小松マテーレは
地球・社会に貢献します

小松マテーレは
社員と共に成長します

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅰ-3. 会社概要　繊維事業における当社の位置づけ

当社

川上 → 川中 → 川下

原糸製造 → 糸加工 → 織物・編物化 → **染色加工素材製造** → 最終製品製造（縫製） → 小売業 → 消費者（マーケット）

加工素材：合成繊維（ポリエステル、ナイロン等）
加工規模：**約2億m²／年（地球約5周分）**
シェア（染色加工）：国内約14%　石川県内約90%

◀ポリエステル

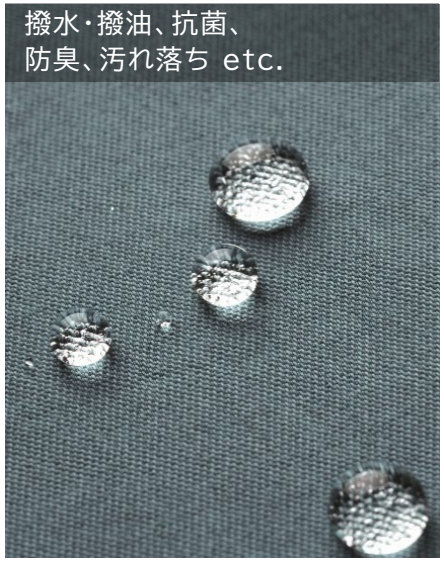
◀ナイロン

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

komatsu

感性 ＋ 機能

感性		機能	
染色	風合い変化	改質加工	造膜加工



技術と感性の融合

Art in Technology

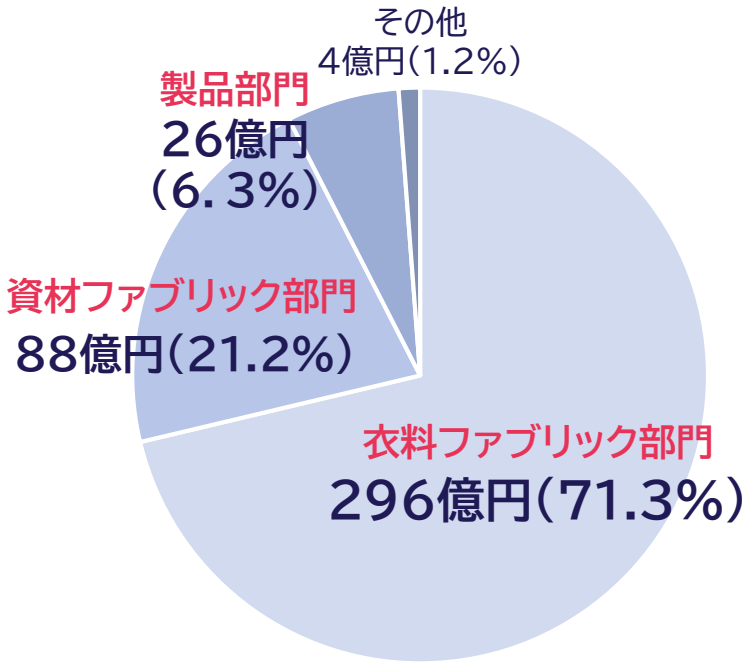
～芸術の工業化～

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

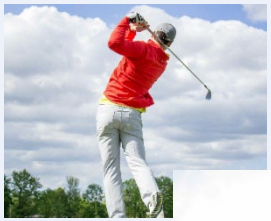
Ⅰ-5. 会社概要　当社の事業概要

製品部門

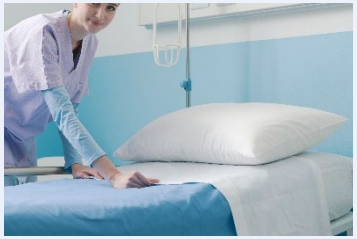
2026年3月期 売上高 415億円



衣料ファブリック



資材ファブリック



komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅱ. 2026年3月期決算概要

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅱ-1. 2026年3月期決算概要

（単位：百万円）

項　目	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増　減	
			金　額	増減率（%）
売上高	39,526	**41,563**	2,036	5.2
営業利益	2,181	**2,502**	321	14.7
経常利益	2,838	**3,208**	369	13.0
親会社株主に帰属する当期純利益	2,934	**1,500**	△1,433	△48.9

一株当たり純資産	998.19円	**1,042.52円**
一株当たり当期純利益	73.42円	**38.51円**

期中平均為替レート	USD	152.62円	**150.67円**
	EUR	163.88円	**174.64円**

「親会社株主に帰属する当期純利益」の減益については、当社が保有する投資有価証券（非上場株式）の一部について、取得価額に比べ実質価額が大幅に下落したため、投資有価証券評価損1,232百万円を特別損失として計上しております。

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅱ-1. 2026年3月期決算概要

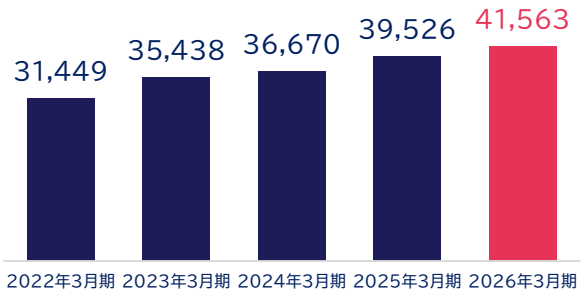
売上高

（単位：百万円）

41,563百万円

前期比

5.2%増



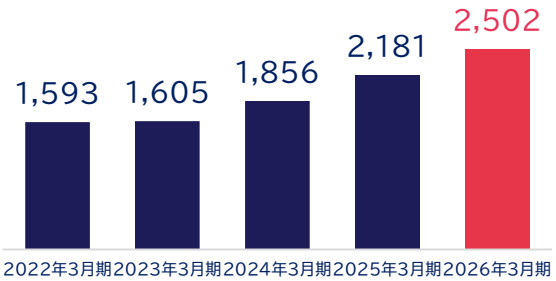
営業利益

（単位：百万円）

2,502百万円

前期比

14.7%増



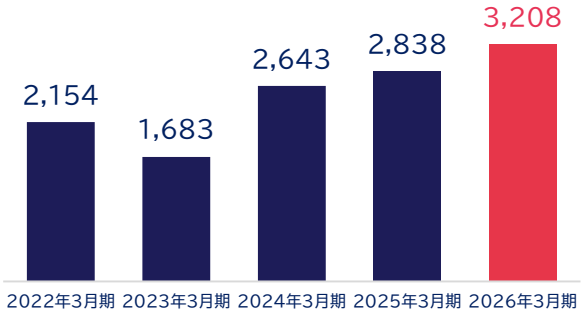
経常利益

（単位：百万円）

3,208百万円

前期比

13.0%増



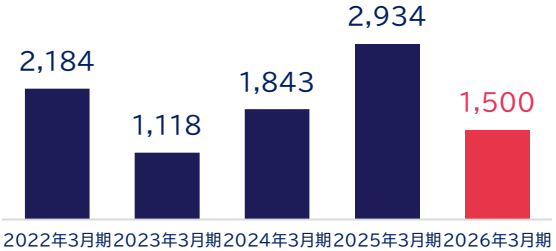
親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）

1,500百万円

前期比

48.9%減



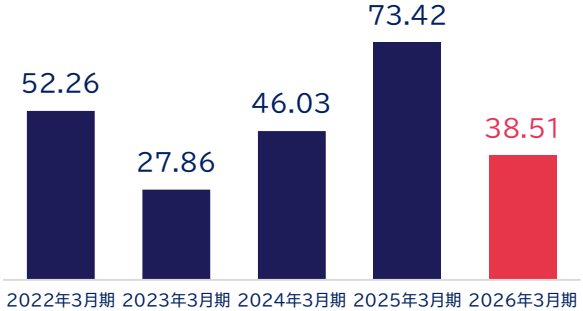
1株当たりの当期純利益

（単位：円）

38.51円

前期比

34.91円減



©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅱ-2. 決算概要　各セグメント別売上高と営業利益

（単位：百万円）

セグメント	売上高				営業利益			
	前期実績	2026年3月期実績	増減		前期実績	2026年3月期実績	増減	
			金額	率(%)			金額	率(%)
繊維事業計	39,015	41,063	2,048	5.3	2,102	2,444	342	16.3
衣料ファブリック	29,030	29,628	598	2.1	2,000	2,250	250	12.5
資材ファブリック	8,556	8,806	250	2.9				
製品部門	1,429	2,630	1,201	84.0	102	194	92	90.2
その他の事業	511	499	△12	△2.3	79	58	△21	△26.6
合計	39,526	41,563	2,036	5.2	2,181	2,502	321	14.7

＜コメント＞

●衣料ファブリック
北米ファッションや中東民族衣装が牽引したことにより、全体として増加。

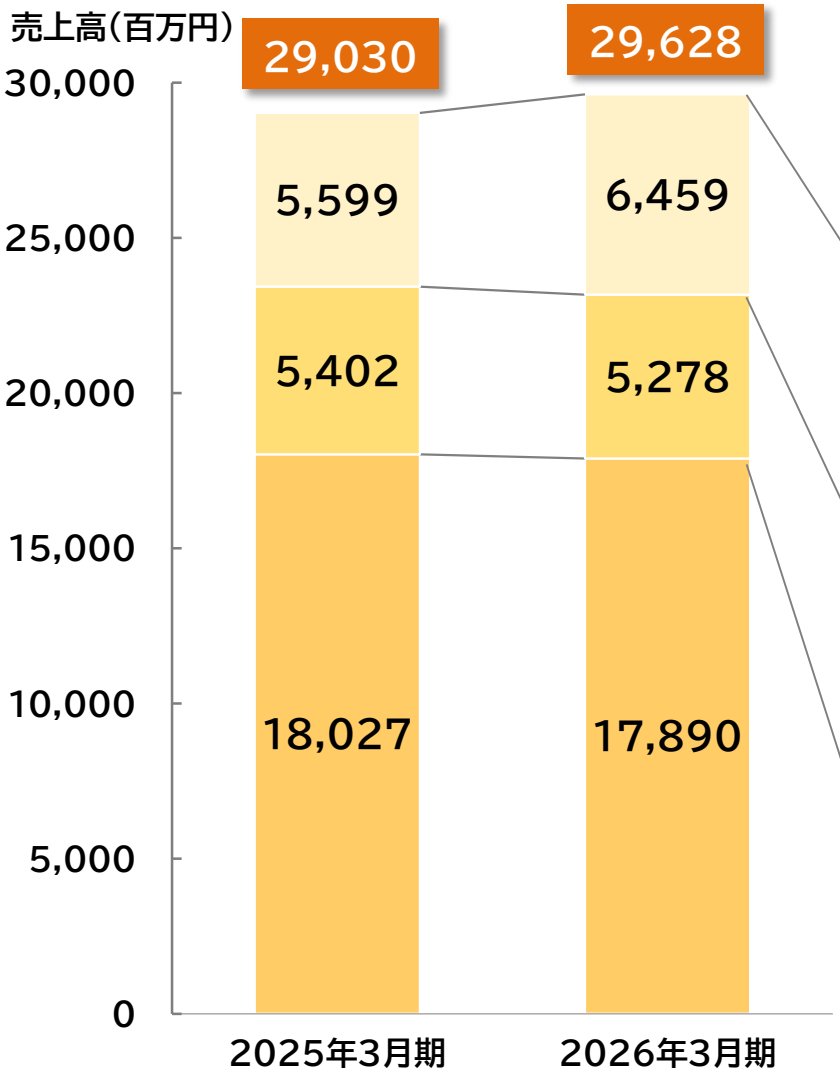
●資材ファブリック
生活関連資材分野が大幅に増加し、全体として増加。

●製品部門
連結子会社化により事業範囲が拡大したことから増加。

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅱ-3. 決算概要　繊維事業（衣料ファブリック部門）

（単位：百万円）



衣料ファブリック計　＋598（2.1%増）

民族衣装
＋859（15.4%増）
⇒ 高付加価値商品の継続導入により大幅に増加。

スポーツ
△123（2.3%減）
⇒ 国内機能（ユニフォーム）分野で生産調整により減少。

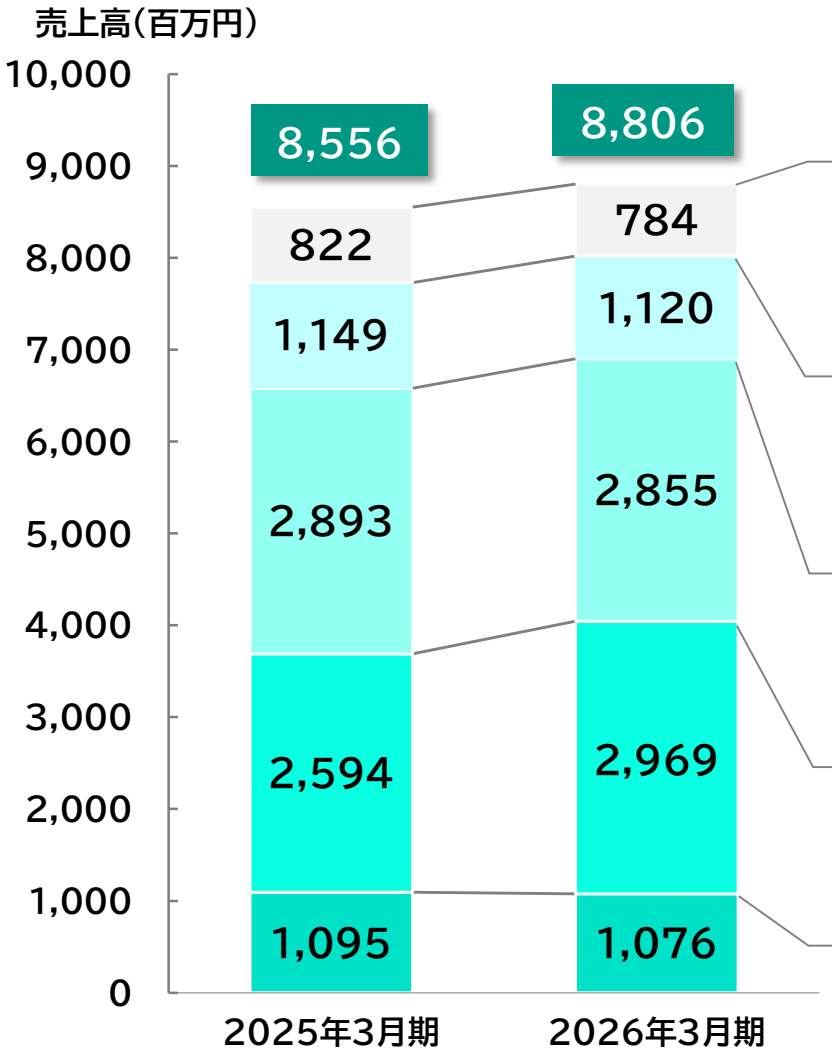
ファッション
△137（0.8%減）
⇒ 欧州ラグジュアリー向けは堅調。北米ファッションを中心に増加するも、中国含むアジア向けが減少したことによりファッション全体としては減少。

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅱ-4. 決算概要　繊維事業(資材ファブリック部門)

（単位：百万円）

資材ファブリック計　＋250（2.9%増）



その他
△37（4.6%減）
⇨ 電材関係の受注が減少。

車輌
△29（2.6%減）
⇨ ほぼ前年同期並みに推移。

医療・福祉
△38（1.3%減）
⇨ ほぼ前年同期並みに推移。

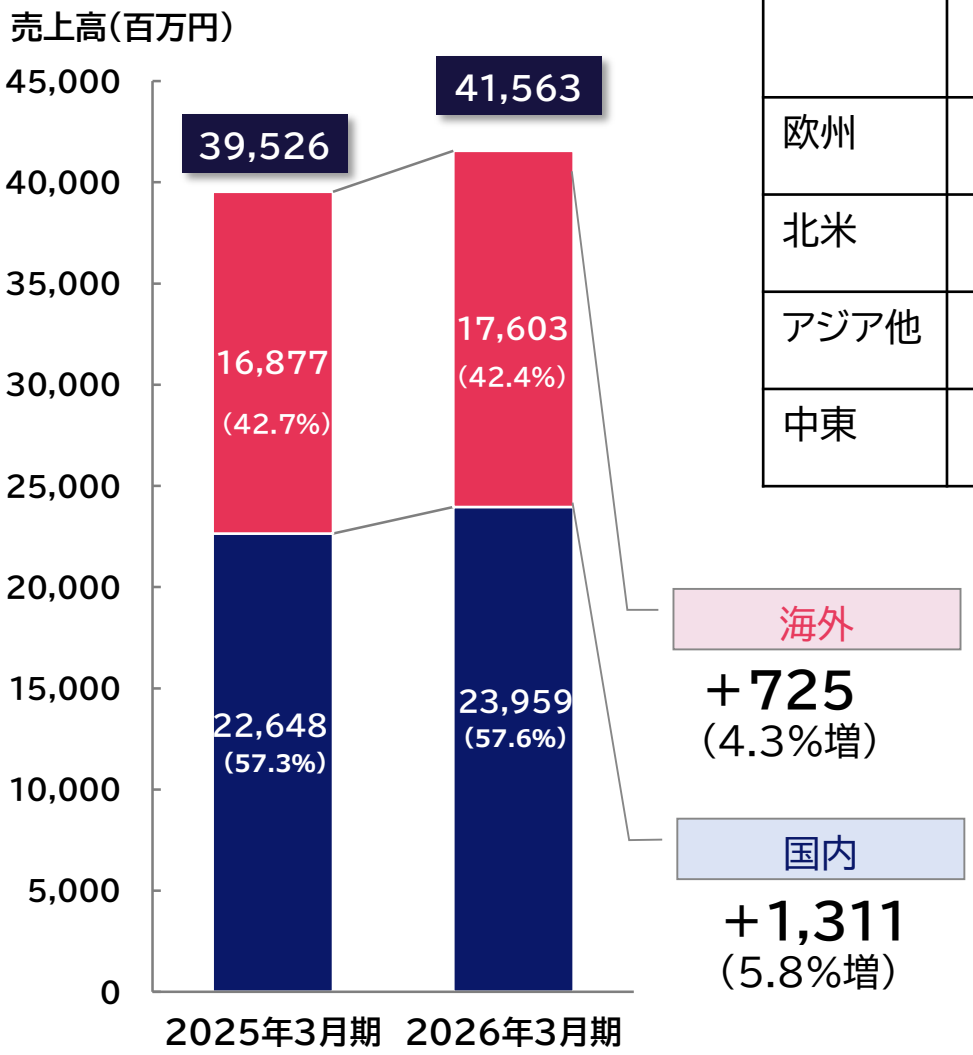
生活関連資材
＋374（14.4%増）
⇨ 鞄や日傘といった生活雑貨の差別化商品が引き続き好調により増加。

リビング
△18（1.7%減）
⇨ ほぼ前年同期並みに推移。

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅱ-5. 決算概要　市場別売上高（国内・海外）

（単位：百万円）



	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率（%）
欧州	3,836	**3,701**	△135	△3.5
北米	5,086	**5,677**	591	11.6
アジア他	2,611	**2,232**	△378	△14.5
中東	5,343	**5,991**	647	12.1

＜コメント＞

●海外市場

＜欧州＞ラグジュアリーブランド向けは堅調。
スポーツ分野が減少。

＜北米＞米国・カナダ向けのファッションが引き続き増加。

＜アジア他＞中国向けカジュアルファッションが減少。

＜中東＞高付加価値商品の継続導入により増加。

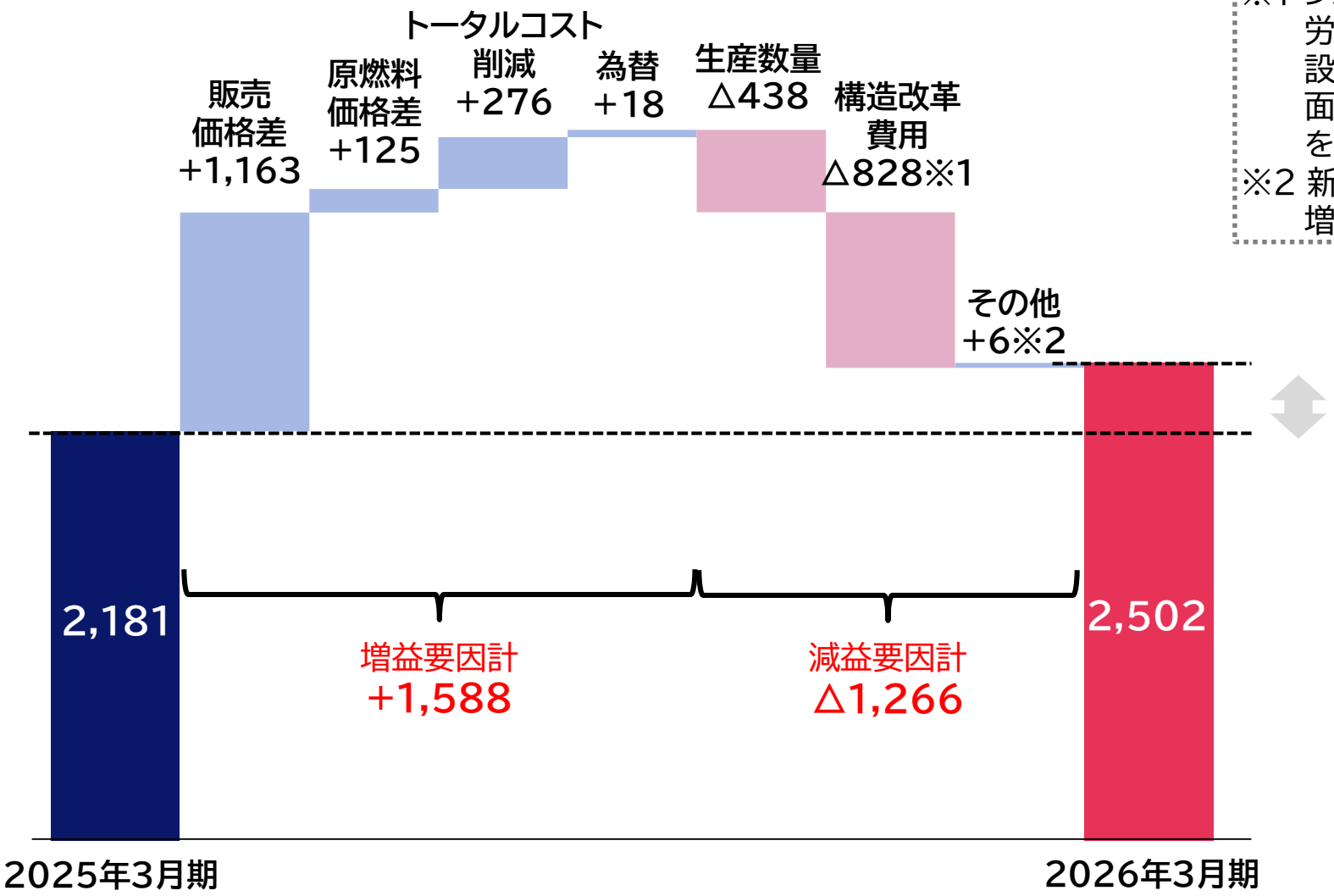
●国内市場

生活関連資材や製品部門が増加。

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅱ-6. 決算概要　営業利益増減分析

（単位：百万円）



※1 システム関連投資や、労働環境の改善・製造設備の整備、福利厚生面の充実のための費用を含んでおります。
※2 新規連結子会社による増益分となります。

前年同期比
+321

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅲ. 2027年3月期　業績見通し

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅲ-1. 2027年3月期　業績見通し

（単位：百万円）

項　目	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減	
			金額	増減率(%)
売上高	41,563	**42,000**	436	1.1
営業利益	2,502	**1,500**	△1,002	△40.1
経常利益	3,208	**2,300**	△908	△28.3
親会社株主に帰属する当期純利益	1,500	**2,000**	499	33.3

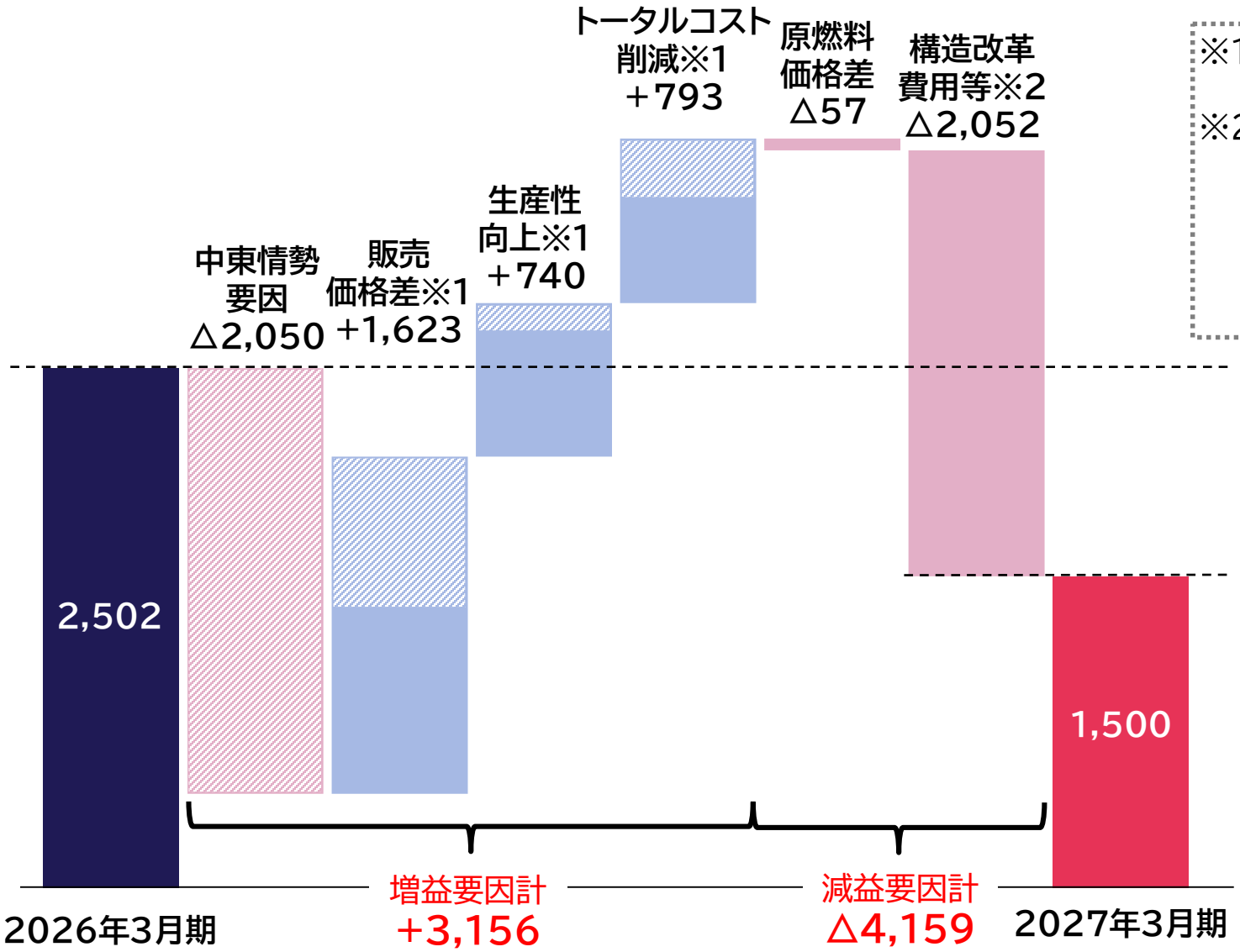
一株当たり当期純利益	38.51円	**52.46円**

期中平均為替レート	USD	150.67円	**150.00円**
	EUR	174.64円	**175.50円**

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅲ-2. 業績見通し　営業利益増減分析

（単位：百万円）

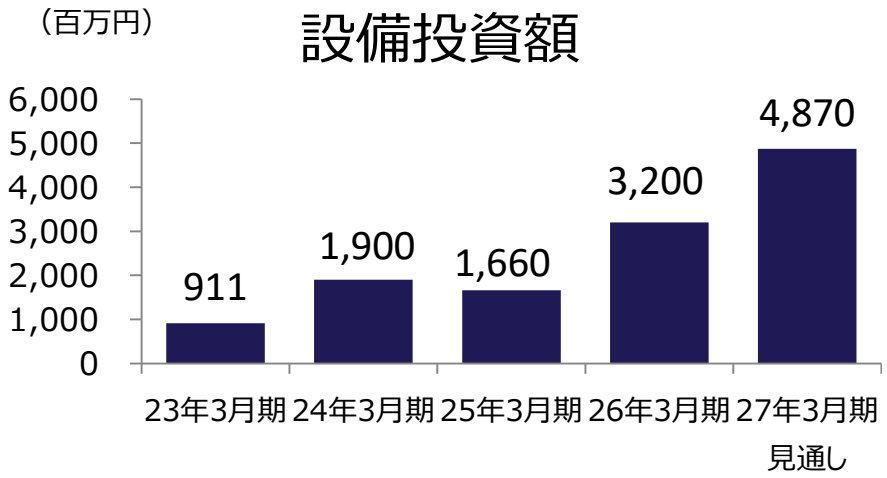


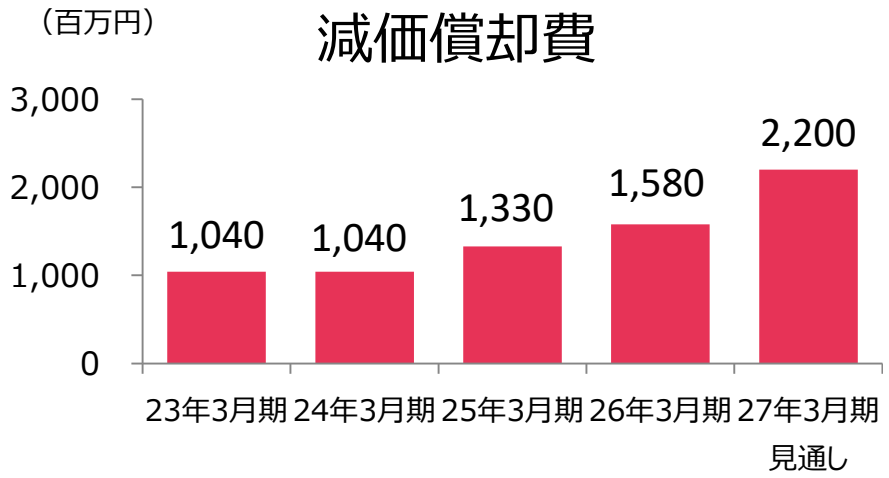
※1 斜線部は中東情勢の緊迫化に伴う、収益改善策となります。
※2 原燃料及び電力使用量削減に向けた高効率設備の導入費用、DXの推進、製造環境整備や福利厚生面の充実といった基盤強化のための費用などを含んでおります。

前年同期比
△1,002

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅲ-3. 業績見通し　設備投資額・減価償却費推移





設備投資額　内訳

（単位：百万円）

項　目	2026年３月期 実績	2027年３月期 見通し
製造関連投資	1,350	1,570
開発関連投資	110	320
環境関連投資	900	310
システム関連投資	230	2,580
その他	610	90
合計	3,200	4,870

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅳ. 中期経営計画進捗状況

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

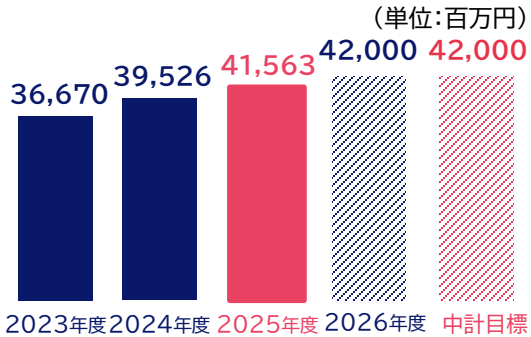
Ⅳ-1. 中期経営計画の実績と数値目標

連結財務ハイライト

売上高

41,563 百万円

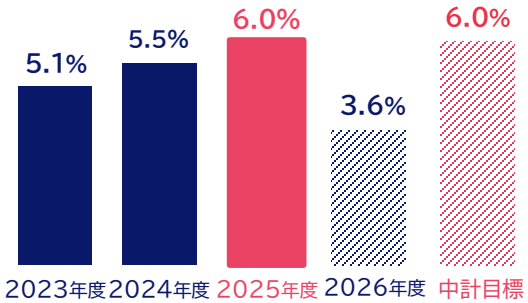
前年度比
5.2%増



営業利益率

6.0%

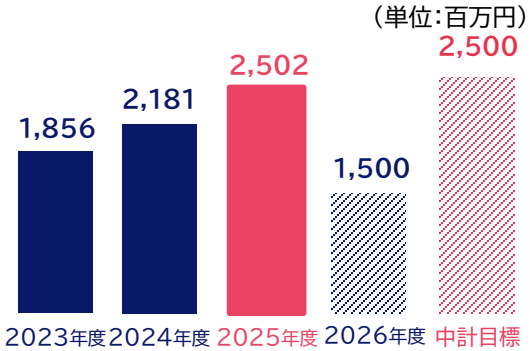
前年度比
0.5P増



営業利益

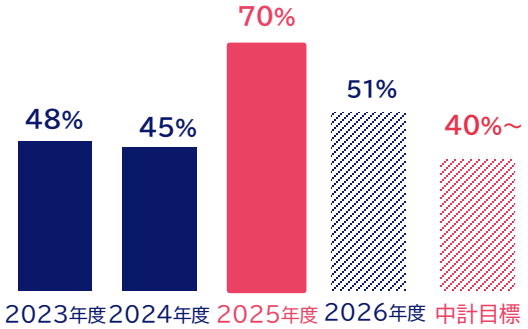
2,502 百万円

前年度比
14.7%増



配当性向

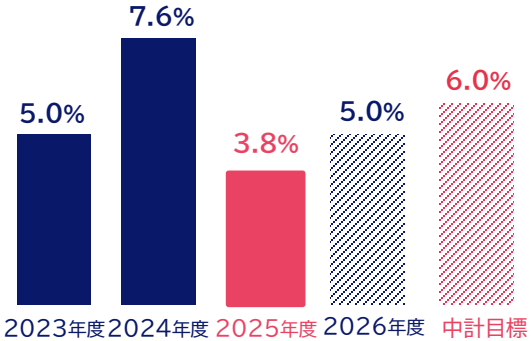
70%



ROE

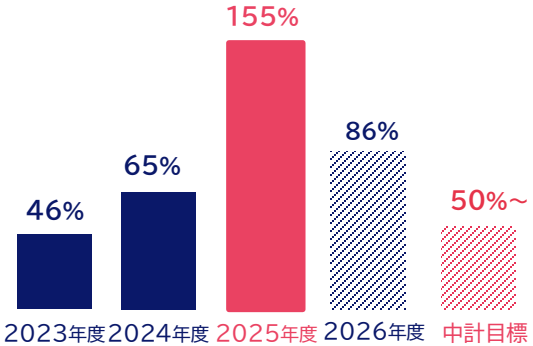
3.8%

前年度比
3.8P減



総還元性向

155%



©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

KFW-2026 スローガン

Art in Technology

技術と感性で人々と社会をより豊かに

事業領域

1. 海外事業の拡大
   ファッション衣料と非衣料分野
2. 小松マテーレ式サステナブル商材・事業の推進
3. 製品事業の推進

基盤強化

4. 人材育成の強化とエンゲージメントの向上
5. 製造環境の整備、福利厚生面の充実

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

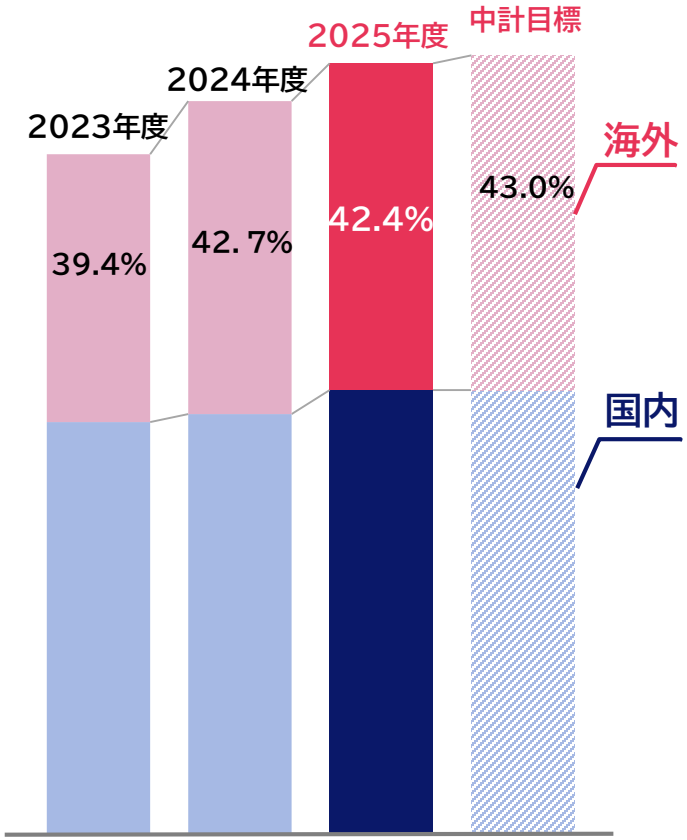
Ⅳ-3. 中期経営計画　事業課題進捗状況

1 海外事業の拡大
ファッション衣料と非衣料分野

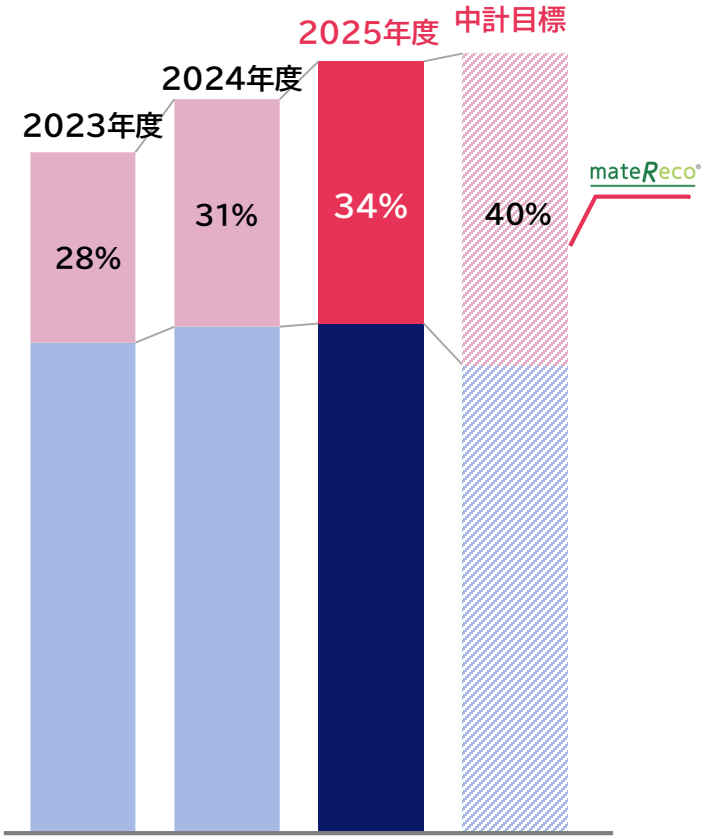
2 小松マテーレ式 サステナブル 商材・事業の推進

3 製品事業の推進

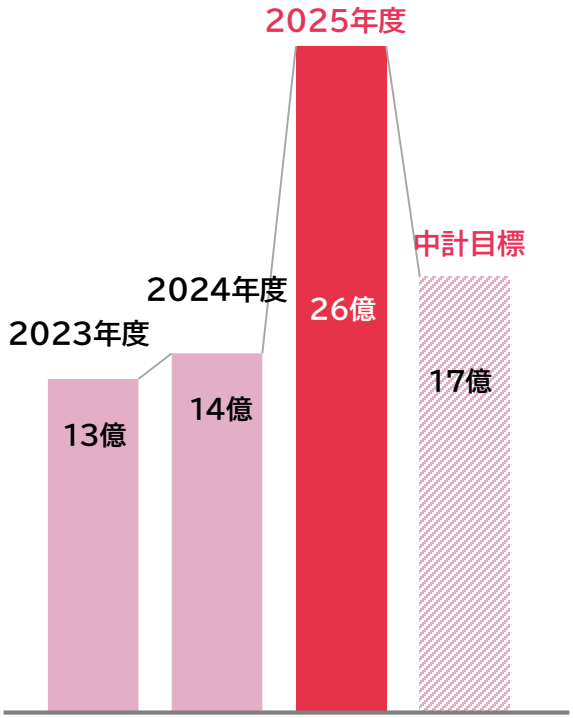
売上に占める国内・海外の比率



売上に占める環境配慮素材「mateReco®」の比率



製品部門の売上



komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅳ-4. 中期経営計画　サステナブル素材開発への取組

① 素材開発への取組

非石油由来素材を有する企業の先端技術と**自社の染色・高次加工技術を融合**

➡ 環境配慮型の高付加価値素材を創出

・染色・後加工技術による**素材のポテンシャル最大化**
・風合い・発色・機能性の最適化

○Spiber株式会社
Brewed Protein™（人工構造タンパク質素材）

Spiber

・石油・動物由来原料に依存しない新素材
・当社加工技術との融合により機能性・意匠性向上
・サステナブル素材として開発推進中

※2026年4月から新体制となったSpiber㈱とも関係を継続しております。

○Bioworks株式会社
PlaX™（植物由来繊維）

Bioworks

・サトウキビ由来ポリ乳酸＋植物由来添加物
・当社の染色高次加工により付加価値向上
・本年度より生産・販売拡大を推進

② 事業展開

サステナブル素材市場の取り込み
高付加価値素材領域の拡大
新規顧客・用途開拓

事業化の加速と中長期的な成長の実現を目指す

※「Spiber」及び「Brewed Protein™」は、日本およびその他の国におけるSpiber株式会社の商標または登録商標です。
「Bioworks」及び「Plax™」はBioworks株式会社の商標です。

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅳ-5. 中期経営計画　環境共生素材の展開1

○炭素繊維複合材料「カボコーマ・ストランドロッド」

CABKOMA®

素材概要

炭素繊維複合材（CFRTP）による軽量・高強度材料

環境価値

・軽量化 → 輸送・施工エネルギー削減

・高耐久 → 更新頻度低減・資源節約

・防錆　 → メンテナンス負荷低減

最新動向

2026年：「炭素繊維撚り線を用いた耐震補強工法の開発」が
2025年度繊維学会 技術賞受賞

2026年8月末～9月を目途に公的認証の取得に向けて進行中

工場の稼働を止めずにできる耐震補強工法として
老朽化工場を中心に全国展開を目指す

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅳ-6. 中期経営計画　環境共生素材の展開2

○汚泥減容化バイオ製剤「ベリフォーマー」

Bellefomer®

素材概要

微生物技術を活用した汚泥減容化バイオ製剤

環境価値

・余剰汚泥を最大100%削減
・CO2排出削減（焼却不要）
・廃棄物削減

採用実績

前年対比 ＋31件（＋129%）

55件　化学、食品、製薬、繊維会社や自治体

【採用例】
・東レ㈱三島工場　実機にて使用を開始
・カイハラ産業㈱本社工場（広島）

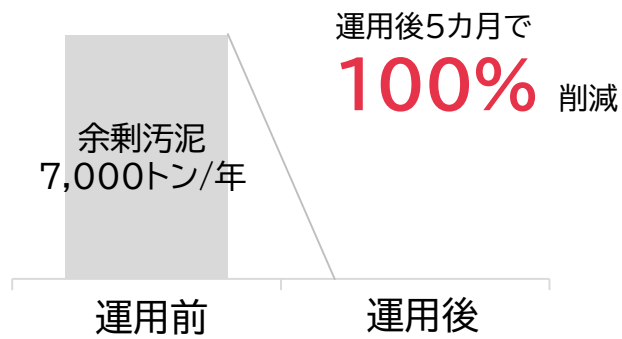
最新動向

2025年：2025グッドデザイン・ベスト100
2026年：ものづくり日本大賞受賞

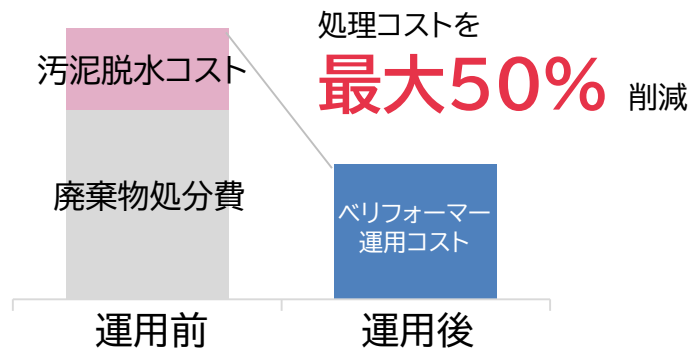
高い評価を受けたことを契機に、今後も事業拡大を図り、将来的には海外進出を目指す

当社事例

○余剰汚泥排出量



○処理コスト



komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅳ-7. 中期経営計画　サステナブル加工技術の展開

市場課題

・過剰生産による**在庫ロス**
・売れ残りによる**廃棄問題**
・染色工程による**環境負荷**

必要な分だけを生産する仕組みが求められる

新たな技術に加え、
新しいコンセプトを纏う新ブランド「TINTORIANA（ティントリアーナ）」

当社の強みである染色加工技術と素材開発を融合させた製品染め技術

特徴

・イタリアの「ティントリア・エミリアーナ社」との長年の技術交流による製品染め独特の表情感、風合い、色彩表現
・製品完成後に染色
・小ロット対応可能

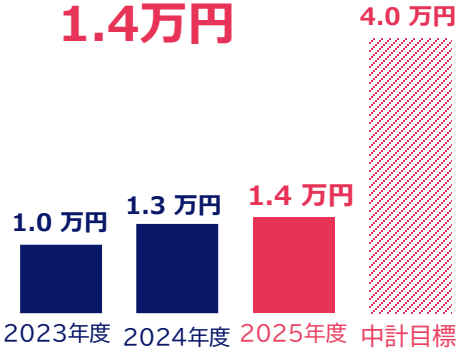
➡ 環境負荷低減 × 在庫リスク削減

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

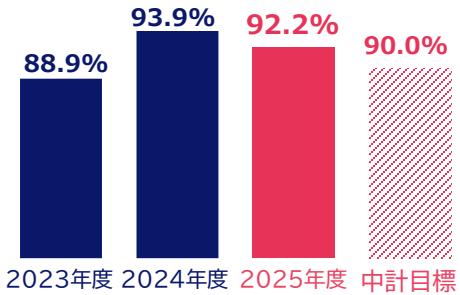
Ⅳ-8. 中期経営計画　基盤強化課題 人的資本経営

4　人材育成の強化と エンゲージメントの向上

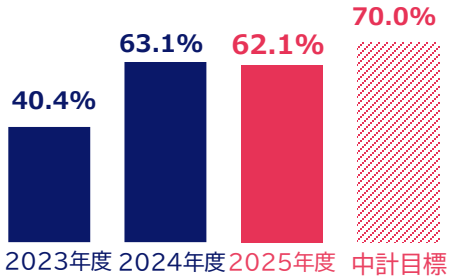
社員一人当たりの研修費用
1.4万円



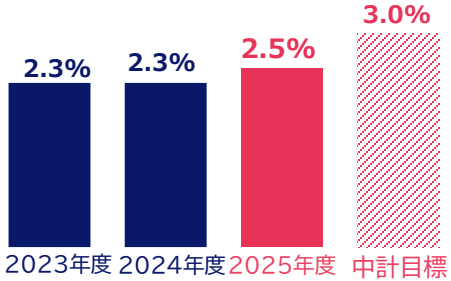
新卒者(入社3年以内)における定着率
92.2%



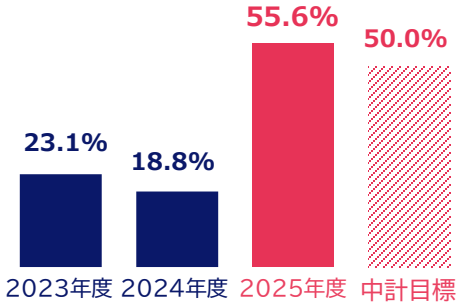
年次有給休暇の取得率
62.1%



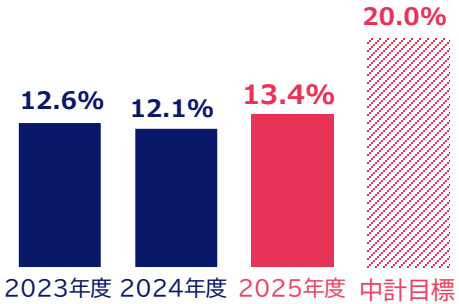
障がい者雇用率
2.5%



男性の育児休暇取得率
55.6%



管理・監督職女性比率
13.4%



今年度取組

1. 人材開発
企業力強化を目的とし、以下をはじめとした教育研修を充実
- ・現場社員研修
- ・女性社員向けキャリア研修
- ・新入社員研修の刷新

2. 柔軟な働き方の推進
- ・男性育休、看護・介護休暇の取得への説明会の開催
- ・従業員向けに子育て応援サイトを開設

3. 多様性・共生・尊重
- ・障がい者雇用の促進に向けて、就労支援会社と提携
- ・母性保護についての管理職への説明会

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅳ-10. 中期経営計画　基盤強化課題『factoRe100（ファクトーレ100）』

○ 工場の再編プロジェクト「factoRe100」

当社の工場は、長年にわたり日本の繊維産業を支えてまいりましたが、近年では設備の老朽化や生産体制の複雑化、人手不足といった課題が顕在化しております。こうした課題への対応に加え、創業100周年、さらにはその先の持続的な成長を見据え、国内製造拠点を次世代型の工場群へ再編するプロジェクト「factoRe100」を立ち上げました。

プロジェクト名：factoRe100

完成予定：2043年（創業100周年目途）

総工費：300億円～（現在見通し）

＜基本構想＞

○次世代素材や環境配慮型の生産
○省人化・自働化
○DXの推進

＜次世代工場群の主な役割＞※生産性と環境価値の両立

○革新的工場として次世代素材に対応
○高効率型工場として既存商品群を最適化
○次世代型“エコファクトリー”を実現
○マザーファクトリー機能を強化
○関連技術の開発と商品化

「factoRe100」に込めた想い

・factoRe = Factory + Re
　Factory：工場
　Re（接頭語）：リフォーム、リデザイン等
・100　　：創業100周年

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅳ-11. 中期経営計画　キャッシュアロケーションについて

自己資本や営業キャッシュフロー、政策保有株式の縮減による資金調達を有効活用し、更なる成長・戦略投資及び自己株式取得等の持続的な株主還元を引き続き実現してまいります。

	資金調達	投資	株主還元
当初計画	自己資本 営業キャッシュフロー 70～90億円	成長投資 30～50億円 戦略投資 30～40億円	自己株式取得 株主還元 25～30億円
2026新計画	自己資本 政策保有株式売却 30～40億円 営業キャッシュフロー 80～100億円	成長投資 70～80億円 戦略投資 50～70億円	自己株式取得 株主還元 50～70億円

政策保有株式の50%縮減

・純利益40～50億円
・償却費40～50億円

・生産設備の増強
・サステナブル素材開発投資
・社内環境の整備

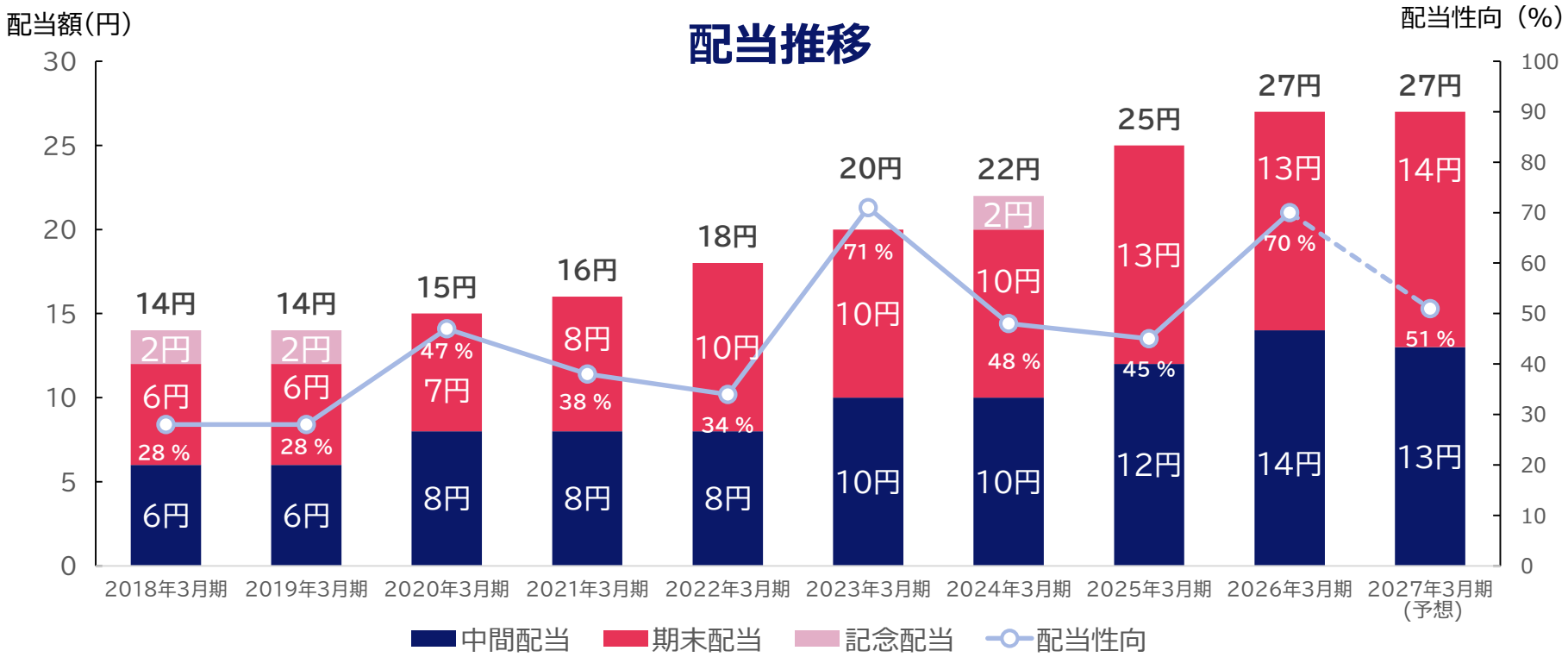
・NSKエコーマーク子会社化
・他社との業務提携
・中国新会社設立
・DX投資

・配当を27円に増配
・自己株式17億円取得中

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅳ-12. 中期経営計画　剰余金の配当について

◆ 当社は、株主に対する利益還元を重要課題のひとつとし、安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としております。
◆ 配当性向について当期純利益の40%以上を目安としております。
◆ 今期の期末配当は、1株当たり13円といたします。年間配当額は前期比2円増配の1株当たり27円となります。



【自己株式の取得について(実行中)】
●取得株式数:200万株（上限）　●取得総額:17億円（上限）
●取得期間:2025年11月1日～2026年10月31日

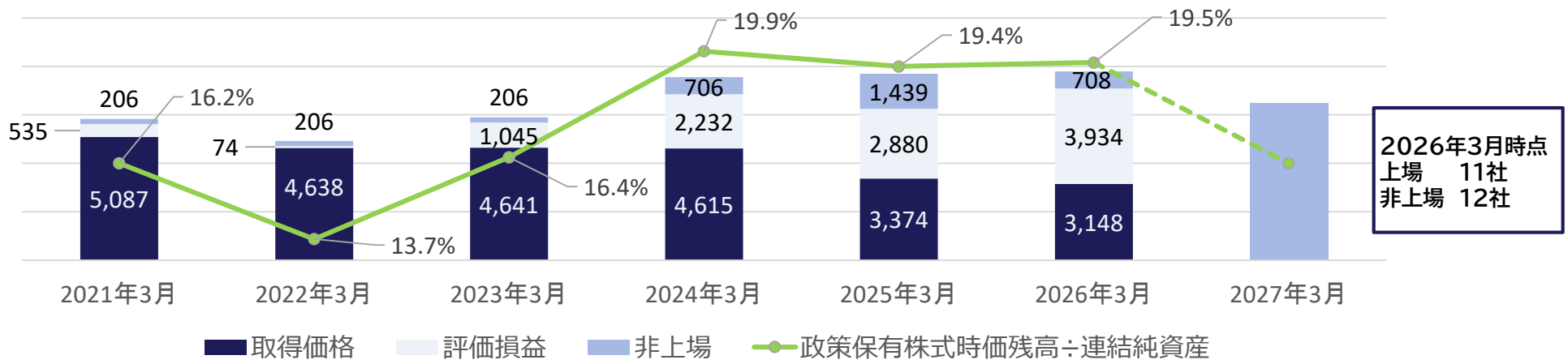
komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅳ-13. 中期経営計画　政策保有株式の縮減状況

当社は企業価値向上と資本効率向上に向けて、更なる成長投資及び持続的な自己株式取得等の株主還元を実現するため、中期経営計画「KFW-2026」期間の3年間で政策保有株式の50%(約40億円)縮減を目指しております。

○政策保有株式残高推移

（単位：百万円）



○売却状況

業務提携への戦略投資等による株式取得

	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月	2027年3月目標
取得金額	+223	+10	+2	+502	+735	+506	–
売却金額(簿価)	▲290	▲459	0	0	▲1,243	▲1,462	▲1,300
評価差額	–	▲461	+971	+1,157	+648	+1,233	–
保有株式金額	5,828	4,918	5,891	7,552	7,692	7,791	–

合計
40億円

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅳ-14. 小松マテーレ・サステナビリティ・ビジョン SDGsへの取組み

持続可能な社会の実現に向けた取り組みをさらに加速させるため、環境目標の数値を見直した。

気候変動対策

循環型社会づくりへの貢献

人々の感動の創造

適用範囲	小松マテーレ(株)グループ (小松マテーレ、コマクソン)			
策定期間	2021年度～2030年度			
目的	項目	基準年 2013年度	実績 2025年度	達成目標 2030年度
1.気候変動対策	温室効果ガスの削減：CO_2重量原単位	4.74t-CO_2/t	▲ 26.8% (3.47t-CO2/t)	▲46%
2.循環型社会づくりへの貢献	①水の削減：水重量原単位	275m^3/t	▲31 % (190m^3/t)	▲40%
	②廃棄物の削減：廃棄物重量原単位	0.190t/t	▲67 % (0.0650 t/t)	▲80%
	廃棄物のリサイクル率(埋立処理削減)	99.6%	99%	98%以上
	③有害化学物質の削減: 揮発有機溶剤(VOC)使用量重量原単位	0.96t/t	▲28% (0.69t/t)	▲50%
	撥水加工の非フッ素化推進：非フッ素比率	6.6%	73%	100%
3.人々の感動の創造	環境配慮商品(mateReco)の拡大：売上比率	10% (2019年度)	34%	50%

komatsumateRe
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

本資料中の業績予想、見通しについての記載は、現時点における
将来の事業環境・経済状況等の仮定・推測に基づいています。
実際の業績は様々な要因の変化により、これと異なる結果となる
可能性があることをご理解願います。

Art in Technology
komatsumateRe